



食べるなどの日常の表現は、嘘がばれやすく気をつかいます。

アニメーションのチカラ

米林宏昌監督の講演会

学びの杜のいち カレードで7月27日(土)、野々市出身のアニメーション映画監督米林宏昌氏による講演会がありました。これは『ちいさな英雄』の原画展にあわせて開かれたもので、夏休み中の親子連れなど約100人が熱心に聞き入っていました。監督は「アニメの魅力を感じてもらえたら」と話し、アニメーション制作過程での表現やこだわり、工夫などを惜しみなく披露。『メアリと魔女の花』のメアリを描く作画パフォーマンスも好評を博し会場は大きな歓声に包まれました。

コートに飛び交う赤い羽根

ニュースポーツ体験会

性別、年齢に関わらず誰でも楽しめるスポーツとして注目を集めるニュースポーツ。その体験会を8月10日(土)に市民体育館で開催し17人が参加しました。今回行ったインディアカは、赤い羽根のついたボールを手で打ち合うスポーツ。ルールはバレーボールに似ていますが、ボールについた羽根のおかげで速度があまり出ず初心者でも安心です。参加者は「楽しいのでぜひいろんな人にやってみてほしい」と語っていました。東京オリンピックも間近な今、ぜひあなたも始めてみませんか！



1 チームは4人。声を掛け合いながらボールを繋ぎます。



地図をもとに避難の方法やルートを検討しました。

自治体の垣根を越えて

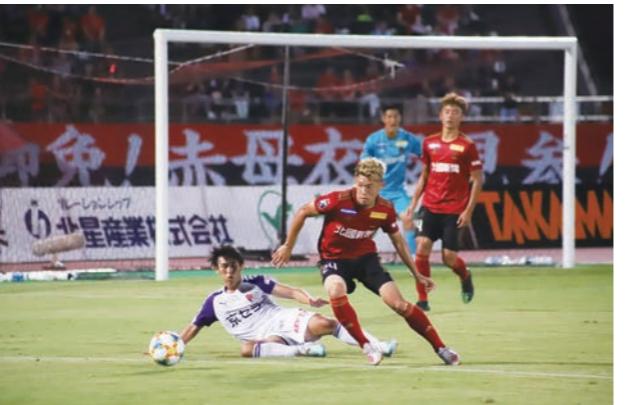
本町1丁目・横川3丁目町内会合同防災講座

7月27日(土)、防災コミュニティセンターで合同防災講座が開催されました。隣接する両町内会は高橋川と住吉川に近く、水害発生リスクが高いという共通の課題を抱えています。もしもの時に助け合い、地域の防災力を高めるため住民主導で今回の連携が実現しました。豪雨が発生した架空の地域を想定したワークショップでは、刻一刻と変わる気象状況のなかで、最善の行動をとるための方法を話し合いました。両町内会はお互いの防災訓練に参加するなど今後も交流を深めていく予定です。

ツエーゲン金沢への大きな声援

ツエーゲン金沢ホームタウンサンクスデー

7月31日(木)、西部緑地公園陸上競技場(金沢市)でサッカーJ2リーグ所属のツエーゲン金沢と京都サンガF.C.による試合が行われました。ホームタウンサンクスデーとして、市内親子1,000組2,000人が無料で招待されたほか、市内在住、在勤および在学者も特別価格で観戦。3,924人が訪れた試合では、ツエーゲンが積極的な攻めの姿勢で後半に1点を先制。しかし、アディショナルタイム終了間際に同点のゴールを浴び、惜しくも1-1の引き分けに終わりました。



一進一退の攻防！思わず手に汗を握ります。

まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 (☎ 227-6056)

夢をカタチにしてみよう

こども会議#2

こどものまち『BomBomTown』の開催に先立ち、8月7日(水)に準備イベントとして、にぎわいの里のいちカミーノでお店作りの体験を通じ子ども起業家を育てるこども会議#2が開かれ、29人の子どもが参加しました。

大人さながらの名刺交換から始まった会議では、どんなお店を出すか、どうやって商品を買ってもらうかなどを皆が真剣に考えました。子どもたちの描く夢の数々に、講師の一人を務めた河合氏は「大人に無い発想や工夫があって良かった。当日みんなのお店を見てみたい」と話しました。修了の証として『準備リーダー認定証』が子ども一人一人に手渡されました。



1) 全体に向けてアイデアを発表
2) グループで披露し共有し合います
3) ときには本を参考に、POP作りに取り組みました

夏休みに普段できない体験を 学びのサポーターとつくる夏休み体験

夏休み中の児童へ地域の先生と一緒に色々な体験をしてもらおうと市内地区公民館が企画しているこのイベント。今期は4館で計11教室が開催されました。

7月25日(木)には野々市公民館主催の「ぶどう狩り体験と工場見学」に市内児童20人が参加。午前中はかほく市で採りたてのおいしいぶどうを味わい、午後は金沢市で新聞工場とお菓子工場の見学をしました。普段入れない工場の裏側や見たことのない機械と作業に興味津々。学校とは一味違う体験に目を輝かせていました。



ガラス越しにお菓子の製造工程を見学しました。

絵本カバーでエコバッグを作ろう！

夏休み子どもエコ教室

8月8日(木)、学びの杜のいち カレードで子どもエコ教室が開催されました。参加者は子どもと保護者を合わせて17人。はじめに地球温暖化についての話を聞き、エネルギーの使用を減らすだけでなくゴミを減らすことでも地球温暖化を防止する方法の一つだと学びました。その後は使わなくなった絵本カバーを利用したエコバッグ作り。周りの友達や兄弟、親子で協力し合って作っていき、最後は好きな色の紐を持ち手にして完成。思い思いのエコバッグを嬉しそうに持ち帰っていました。



作り方を教わりながら工作。上手くできたかな？